

東京/台灣強勢巡迴！

亞洲最強無政府藝術組織「亞細亞安那其連線」首度於東京大集結！

由關渡美術館策展人吳達坤所策劃的「亞細亞安那其連線」(Asia Anarchy Alliance, 簡稱 AAA)，將於 3 月 8 日至 4 月 20 日於東京 Tokyo Wonder Site 藝術村盛大舉辦。本計畫由台灣國家文化藝術基金會「國際駐地研究及展覽交流計畫」與 Tokyo Wonder Site 共同合作，經過激烈審查由策展人吳達坤獲得駐日考察資格，於 2012 年前往東京駐村之後所提出兼具在地與國際視野之展示企劃，回應國際社會脈動，展現台灣當代藝術與國際對話的能力與企圖心。

「亞細亞安那其連線」基本設定以「近代/當代」亞洲為場景舞台，試圖在僵化的東京灣海面投入一顆小石，推動在哲學思考與全球化運動的現實之間找尋可能的突破縫隙。每位參與藝術家的作品展現既是個體亦是主體，透過作品的提問，凸顯出亞際自身的眾多社會性議題。這是一群亞際藝術家發起的跨國「小運動」，一場對應真實「想像」而策劃的藝術實踐，盼望可為亞洲當代藝術提供一條參照的出口。

本次 AAA 東京展覽之參展藝術家包括陳界仁、陳擎耀、陳敬元、袁廣鳴、姚瑞中、杜珮詩、葉振宇、張立人、孫原+彭禹、Jompet Kuswidananto、西京人（小澤剛、陳紹雄、金鴻錫）、坂口恭平等，作品於兩個主要展場 Tokyo Wonder Site-Shibuya(TWS 澀谷)與 Tokyo Wonder Site-Hongo(TWS 本鄉) 展出。除此之外，更特別策劃 AAA Tokyo Alliance 大東京連線衛星計畫，與東京都內 10 多個相關展覽活動結合，並發行一本安那其連線護照，讓觀眾能夠按護照上的行程索驥看展，串聯起真正的東京安那其連線。

在東京展覽之後，AAA 將於今年 5 月份巡迴至台北關渡美術館，屆時展覽規模會更為擴大，除了東京展參展藝術家之外，包括日本的會田誠、森村泰昌、越南的 Dinh Q. Lê、韓國的 Joonho Jeon 等人亦將加入安那其連線陣容！

展覽訊息

展名：亞細亞安那其連線 Asia Anarchy Alliance

展期：2014 年 3 月 8 日~4 月 20 日

地點：Tokyo Wonder Site 澀谷、Tokyo Wonder Site 本鄉

策展人：吳達坤

參展藝術家：陳界仁、孫原、彭禹、袁廣鳴、Jompent Kuswidananto、陳敬元、張立人、杜珮詩、葉振宇、陳擎耀、姚瑞中

主辦單位：Tokyo Wonder Site、關渡美術館、就在藝術空間

贊助單位：財團法人國家文化藝術基金會、普瑜投資股份有限公司、春之文教基金會、TKG Foundation for Arts & Culture

協力單位：NANZUKA

官網：<http://www.tokyo-ws.org>

Facebook 粉絲頁：<https://www.facebook.com/asiaanarchyalliance>

預告片：<http://youtu.be/HnkaQWcOF6M>



AAA 官方護照

Organizer | Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture, Tokyo Wonder Site / Kuandu Museum of Fine Arts (Taipei National University of the Arts) / Project Fulfill Art Space (Taiwan) Support | The National Culture and Arts Foundation: NCAF Cooperation | NANZUKA Appointed Projector Sponsor | EPSON (Taiwan)

tokyo wonder site

TWS shibuya

TWS hongo

國立臺北藝術大學 KallMoFA 關渡美術館

PT PROJECT FULFILL ART SPACE

東京 ART FAIR TOKYO MARCH 7-9, 2014

NCAF

國藝會

2012 視覺藝術策展專案

2012 Visual Arts Curatorial Project

普瑜投資股份有限公司

E.C.H. Investment Corp.

財團法人春之文教基金會

Spring Foundation

TKG

財團法人歐藝術文化基金會

NANZUKA

EPSON

3LCD

Asia Anarchy Alliance

アジア・アナキー・アライアンス

2014年3月8日(土)～2014年4月20日(日)

トーキョーワンダーサイト渋谷・トーキョーワンダーサイト本郷

——東京/台北巡回展！台湾の若手キュレーターが手がけるアジア気鋭のアーティストたちの競演！

昨今のグローバル化が進む世界は、新自由主義と情報ネットワークの時代を迎え、あらゆる境界線が曖昧になりつつあります。一方、アジア諸国は、前世紀からの西洋的概念の広範化に伴い、言論の欠如を受け入れてきました。現代アート界においても、いまだ西洋美術が世界の中心にあり、アジアのそれは言わば亜流であり、添え物のように語られる時代が長く続いています。「アジア・アナキー・アライアンス」は、そのような状況に波紋を投じるべく、我々がアジアで直面している様々な問題を集結し、アートの文脈に載せて発信します。

東京編となる本展では、トーキョーワンダーサイトと台湾若手キュレーター、ウー・ダークンの共同キュレーションのもと、チェン・ジエレン、ユエン・グァンミンをはじめとする台湾、インドネシア、中国などアジア圏から注目すべきアーティストたちの作品を紹介。また、西京人(小沢剛、他)や坂口恭平を招き、展覧会に先駆けて実施する「東京湾ポート会議」のドキュメントも上映します。さらに、都内のサテライト会場にて、映像作品の上映会など関連企画を実施予定です。また、東京での展覧会に続いて、2014年5月より台北關渡(かんじゅ)美術館にて展覧会を開催。東京編に参加するアーティストに加え、会田誠、森村泰昌を筆頭とする日本人アーティストや、ディン・Q・リー(ベトナム)、ジュンホ・チョン(韓国)といったアジアを代表するアーティストたちが参加予定です。

展覧会概要

展覧会名: アジア・アナキー・アライアンス
会期: 2014年3月8日(土)～2014年4月20日(日)
会場: トーキョーワンダーサイト渋谷(渋谷区神南 1-19-8)、トーキョーワンダーサイト本郷(文京区本郷 2-4-16)

※その他サテライト会場でのイベントも予定しています

開館時間: 11:00～19:00(最終入場は30分前まで)
休館日: 月曜日(祝日の場合は翌火曜日) ※サテライト会場は各会場の開館時間/休館日に準ずる。
入場料: 無料 ※サテライト会場でのイベントについては会場により異なる。
企画: ウー・ダークン(關渡美術館チーフキュレーター)
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
關渡美術館(国立台北芸術大学)

助成: プロジェクト・フルフィル・アート・スペース(台湾)
財団法人国家文化芸術基金会(台湾) 普瑜投資股份有限公司(台湾)、春之文教基金会(台湾)、TKG Foundation for Arts & Culture

協力: NANZUKA

アーティスト: チェン・ジエレン、ユエン・グァンミン、ヤオ・レイゾン、ドウ・ペイシー、チャン・リーレン、チェン・ジンユエン、チェン・チンヤオ、イエ・チェンユー(以上、台湾)、ジョンペット・クスウィダナント(インドネシア)、スン・ユアン+ボン・ユウ(中国)、西京人[小沢剛、チェン・シャオション、キムホンソク]*、坂口恭平*
*「東京湾ポート会議」(非公開)に参加。

ウェブサイト: <http://www.tokyo-ws.org>國立臺北藝術大學 KdMoFA 關渡美術館
Taipei National University of the Arts Kaohsiung Museum of Fine ArtsPROJECT FULFILL
ART SPACE國藝會
NCAF

© オープニング・レセプション: 2014年3月8日(土)18:00～トーキョーワンダーサイト渋谷(予定)

<お問い合わせ>

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山SOUTH棟3F
公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト 広報担当: 千賀・石川
TEL: 03-5766-3732 E-mail: press@tokyo-ws.org

展覧会について

本企画「アジア・アナーキー・アライアンス」は、台湾の若手キュレーター育成を目的とした「インターナショナル・レジデント・リサーチ・アンド・エキシビション・エクスチェンジ・プログラム」(財団法人国家文化芸術基金会[台湾]主催)の公募審査を経て選考されました。その選考を受け、企画者ウー・ダークンは、2012年、トーキョーワンダーサイト(TWS)の協力のもと、TWS 青山:クリエイター・イン・レジデンスに滞在、調査を行いました。その成果発表として本展覧会および台湾での展覧会が実施されます。

企画者略歴

ウー・ダークン(吳達坤) | Wu Dar Kuen

1974年生まれ。2002年国立台北芸術大学卒業。アーティスト、キュレーター、批評家。

アーティストとしては、ビデオやサウンドを用いて、人間と身体感覚を喚起させるインスタレーション作品を主に制作しており、大阪トリエンナーレに出展(2001)しているほか、アジア・カルチュラル・カウンシルのヤゲオ・テック・アワードを受賞(2005)している。キュレーターとしてのキャリアは、BLUE DOT ASIA 招聘による「Illusion Theater – New Contemporary Art in Taiwan」(ソウル・アート・センター、韓国、2008)に始まり、その後、「Republic without People」(高雄市美術館、台湾、2011)で「第10回台新藝術獎審査員特別賞」を受賞。また、同展覧会は芸術雑誌選出の公立展覧会ベスト10に選出されている。台北の新たなアート・オルタナティブスペース VT Artsalon の立ち上げメンバーでもあり、現在、台湾で最も注目されている若手アーティスト/キュレーターの一人。

<展覧会 キュレーション>

「Stand-In Techniques II – New Taiwanese Video Style」(香港中文大学、香港、2012)

「Republic without People」(高雄市美術館、台湾、2011)

「Stand-In Techniques I – New Taiwanese Video Style」(Gallery 456、ニューヨーク、2010)

「Illusion Theater – New Contemporary Art in Taiwan」(ソウル・アート・センター、韓国、2008)

「Room19」(關渡美術館、台湾、2008年)

<展覧会 共同キュレーション>

「第7回釜山国際映画祭」(韓国、2010)

「RANDOM-IZE Taipei」(台北、2003)

「Weather in My Brain: Sound-Visual Art Festival」(台北、2003)



「Republic without people」 高雄市美術館、台湾、2011



@ Taipei MOCA

参加アーティスト

■チェン・ジエレン(陳界仁) | Chen Chieh Jen | 台湾 —台湾を代表し世界で活躍する映像作家—

1960 年台湾生まれ、在住。80 年代の冷戦・戒厳令政権下の台湾で、表現の限界に挑み、ゲリラスタイルのパフォーマンスやアングラの展覧会を実施してきた。1996 年より、社会の主流から取り残された地域で、彼自身の生活を再構築する写真や映像を用いた作品を制作。北京、台北、ロサンゼルス等で個展。2012 年「台北ビエンナーレ」出展。



《The Route》2006 シングルチャンネルビデオ、16 分 45 秒 (出展作品)

■ユェン・グァンミン(袁廣鳴) | Yuan Goang-Ming | 台湾 —2012 年恵比寿映像祭に出展—

1965 年台湾生まれ、在住。国立芸術学院卒。Staatliche Hochschule fuer Gestaltung Karlsruhe(ドイツ)修士課程修了。台湾でのビデオアート制作の先駆的存在。日本での主な展示に「恵比寿映像祭」(東京都写真美術館、2012)「サイバー・アジア〜メディア・アートの近未来系」(広島市現代美術館、2003)など。



《エネルギーの風景》2013、シングルチャンネルビデオ、6 分 (出展作品)

■ヤオ・レイヅォン(姚瑞中) | Yao Jui-Chung | 台湾 —1997 年ベネチアビエンナーレ台湾館代表作家—

1969 年台湾生まれ、在住。国立芸術学院卒。「ベネチアビエンナーレ」台湾館代表(1997)。その他の主な展示に「横浜トリエンナーレ」(2005)、「アジア・パシフィック・トリエンナーレ(APT6)」(オーストラリア、2009)、「台北ビエンナーレ」(2010)など。人間の不条理さをテーマとした作品を多く発表している。



《萬萬才》2011、シングルチャンネルビデオ、5 分 30 秒 (出展作品)

■ドウ・ペイシー(杜珮詩) | Tu Pei-Shih | 台湾

1981 年台湾生まれ、在住。ゴールドスミスカレッジ(イギリス)卒業。日本での主な展覧会に「夢か、現か、幻か」(国立国際美術館、2013)他。

■チャン・リーレン(張立人) | Chang Li-Ren | 台湾

1983 年台湾生まれ、在住。国立台湾芸術大学卒業。日本での主な展示に「部分と全体」(企画: 宮津大輔、hiromiyoshii、2011 年)がある。

■チェン・ジンユエン(陳敬元) | Chen Ching-Yuan | 台湾

1984 年台湾生まれ、在住。国立台湾芸術大学卒業。主な展示歴に「Invisibleness is Visibleness: International Contemporary Art Collection of a Salaryman - 宮津大輔」(台北当代芸術館、2011)、「NEW DIRECTIONS #2 TRANS - PLEX 2010」(TWS 本郷、2010)がある。

■チェン・チンヤオ(陳擎耀) | Chen Ching-Yao | 台湾

1976 年台湾生まれ、在住。国立台湾芸術大学卒業。2012 年福岡アジア美術館にてレジデンス滞在。成果発表として「International Radio Exercise」発表。

■イエ・チェンユー(葉振宇) | Yeh Chen-Yu | 台湾

1984 年台湾生まれ、在住。国立台湾芸術大学卒業。

■ジョンペット・クスウィダナント | Jompert Kuswidananto | インドネシア

1976 年インドネシア生まれ。パリ、ジョグジャカルタ在住。ジョグジャカルタの Ga djah Mada University でコミュニケーションを学んだ後、1995～99 年の間ミュージシャンとして活動。その後独学でアーティストとしての道を歩む。インスタレーション、ビデオ、サウンド、パフォーマンスを主体とした活動の他、ジョグジャカルタの現代劇団 Teater Garasi とコラボレーションも行う。主な展示に、「Third Realm」(「ベネチアビエンナーレ」での単独プロジェクト、2011)、「ジャカルタビエンナーレ」(2011)など。

■スン・ユアン+ポン・ユウ(孫 原+彭 禹) | Sun Yuan + Peng Yu | 中国

スン・ユアン: 1974 年中国生まれ。ポン・ユウ: 1972 年中国生まれ。ともに中央美院(Central Academy of Fine Arts)卒、北京在住。2000 年よりユニットとして活動開始。中国現代美術を牽引する作家。人体、動物等を多用した従来の表現方法を超えた大胆な手法で、現代に生きる人々を取り巻く生と死の状況をシニカルに浮き彫りにする。

アジア・アナーキー・アライアンス 台北展情報

上記アーティストに加え、日本やアジアを代表するアーティストを紹介する展覧会を台北の關渡美術館で実施します。

展覧会名: アジア・アナーキー・アライアンス(台北編)

会期: 2014 年 5 月 16 日(金) ~ 2014 年 7 月 13 日(日)

会場: 關渡美術館(国立台北芸術大学) (<http://www.kdmofa.tnua.edu.tw/>)

アーティスト(予定): チェン・ジエレン、ユエン・グアンミン、ヤオ・レイヅォン、ドウ・ペイシー、ジャン・リーレン、チェン・ジンユエン、チェン・チンヤオ、イエ・チェンユー(台湾)、ジョンペット・クスウィダナント(インドネシア)、スン・ユアン+ポン・ユウ(中国)、会田誠、坂口恭平、照屋勇賢、潘逸舟、森村泰昌(日本)、ディン・Q・リー(ベトナム)、ジュンホ・チョン(韓国)、スッティラット・スパンリンヤ(タイ)

広報用画像 ※この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。



チェン・ジエレン(陳界仁)

《The Route》2006、シングルチャンネルビデオ、16分45秒



ユエン・グァンミン(袁廣鳴)

《エネルギーの風景》2013、シングルチャンネルビデオ、6分



ヤオ・レイツォン(姚瑞中)

《Long Long Live》2013、シングルチャンネルビデオ、5分30秒



ドウ・ペイシー(杜鵬詩)

《The Adventures in Mount Yu V》2011、シングルチャンネルビデオ、7分



チャン・リーレン(張立人)

《Battle City EP1》2012
シングルチャンネルビデオ、6分56秒



チェン・ジンユエン(陳敬元)

《The Flares》, 2013



チェン・チンヤオ(陳肇耀)

《International Radio Exercise》2012
シングルチャンネルビデオ、3分30秒



イエ・チェンユ(葉振宇)

《Blanket》2012、デジタルプリント



ジョンペット・クスウィダナント

《The Contigent #5》2012
ミストメディア、インスタレーション



スン・ユアン+ボン・ユウ(孫 原+彭 禹)

《開けゴマ》2012、ミストメディア

東京/台灣強勢巡迴！

亞洲最強無政府藝術組織：「亞細亞安那其連線」將於關美館大集結！

由關渡美術館策展人吳達坤歷時 2 年所策劃的「亞細亞安那其連線」(Asia Anarchy Alliance，簡稱 AAA)，第一階段展覽已於 2014 年 3 月 8 日至 4 月 20 日於東京 Tokyo Wonder Site 盛大舉辦。獲得日本藝術界和許多媒體的廣大迴響！

「亞細亞安那其連線」基本設定以「近代/當代」的亞洲為背景舞台，以藝術為名提出對「亞洲」的新概念。A A A 以自由思想作為信念，試圖在現今亞洲僵化的思想海平面上投入一顆小石，藉由激起的漣漪在全球化、新自由主義當道的重重藩籬中找尋可能的突破縫隙。A A A 鼓吹擁抱現實的態度，重新撿拾起被資本社會、國家機器所捨棄的諸多信念。當然，這意念的實現過程看似漫長，卻是極為浪漫的理想展現。

在 A A A 的架構之下，無論東京展出的 40 餘位藝術家或是台灣的 25 位藝術家們，每位參與的藝術家作品既是單一個體亦是展出主體。這是一群亞際藝術家發起的跨國「小運動」，一場對應於當今亞洲真實「想像」而策動的藝術實踐運動！透過作品的提問，指涉出當今亞際自身的社會性議題。A A A 的激進意識是試圖在亞洲各地策動以「在地國際主義」包圍「全球化」的實地演練，同時也是一場由亞洲藝術界所自發自省的「內在革命」！我們盼望可為亞洲當代藝術提供一條參照的出口。

本次 AAA 在關美館的展覽除了東京展參展的藝術家之外，更結合了之前在東京參展的台灣藝術家，與更多的日籍、東南亞藝術家。包含有：陳界仁、陳擎耀、陳敬元、袁廣鳴、姚瑞中、杜珮詩、葉振宇、張立人、孫原+彭禹、Jompet Kuswidananto、西京人（小澤剛、陳紹雄、金鴻錫）、坂口恭平等人，與來自日本的會田誠、森村泰昌、越南的 Dinh Q. Lê、韓國的 JEON Joonho、泰國的蘇圖西亞·蘇芭芭恩雅 Sutthirat Supaparinya 等人都在本次將加入亞細亞安那其連線的陣容！

值得一提的是，包含袁廣鳴（台）、陳敬元（台）、潘逸舟（日）等多位參展藝術家也針對近期太陽花學運提出新作展出，呈現出亞洲當代藝術家如何以在地扎根，面向亞洲甚至國際對話的能力與企圖心。

展覽訊息

展名：亞細亞安那其連線 Asia Anarchy Alliance

展期：2014 年 5 月 16 日-7 月 13 日
開幕：5 月 21 日（三）下午 5 點
地點：國立臺北藝術大學關渡美術館

策展人：吳達坤 WU Dar-Kuen

參展藝術家：

會田誠 AIDA Makoto / 陳界仁 CHEN Chieh-Jen / 陳擎耀 CHEN Ching-Yao / 陳敬元 CHEN Ching-Yuan / 張立人 CHANG Li-Ren / 李光頂 Dinh Q. Lê / 潘逸舟 HAN Ishu / 文敬媛&全浚皓 MOON Kyungwon & JEON Joonho / 強派特·庫斯納托 Jompet Kuswidananto / 坂口恭平 SAKAGUCHI Kyohei / 森村泰昌 MORIMURA Yasumasa / 杜珮詩 TU Pei-Shih / 照屋勇賢 TERUYA Yuken / 姚瑞中 YAO Jui-Chung / 葉振宇 YEH Chen-Yu / 袁廣鳴 YUAN Goang-Ming / 孫原+彭禹 SUN Yuan & PENG Yu / 蘇圖西亞·蘇芭芭恩雅 Sutthirat Supaparinya / 東京灣圓桌會議 AAA Tokyo Bay Conference: 西京人 Xijing Men (小澤剛 OZAWA Tsuyoshi, 陳劭雄 CHEN Shaoxiong, 金鴻錫 Gimhongsok) / 坂口恭平 SAKAGUCHI Kyohei / 吳達坤 WU Dar-Kuen /

主辦單位：關渡美術館、Tokyo Wonder Site、就在藝術空間

贊助單位：財團法人國家文化藝術基金會、普瑜投資股份有限公司、春之文教基金會、ACC 亞洲文化協會、TKG Foundation for Arts & Culture

指定投影機：EPSON

指定顯示器：SAMSUNG

關渡美術館網站：<http://www.kdmofa.tnua.edu.tw>

AAA FaceBook 粉絲頁：<https://www.facebook.com/asiaanarchyalliance>

預告片：<http://youtu.be/HnkaQWcOF6M>

https://www.youtube.com/watch?v=O_U_mOjOLIO

Organizer | Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture, Tokyo Wonder Site / Kuandu Museum of Fine Arts (Taipei National University of the Arts) / Project Fulfill Art Space (Taiwan) Support | The National Culture and Arts Foundation: NCAF Cooperation | NANZUKA Appointed Projector Sponsor | EPSON (Taiwan)

tokyo wonder site

TWS shibuya

TWS hongo

國立臺北藝術大學 KdMoFA 關渡美術館

PT PROJECT FULFILL ART SPACE

ART FAIR TOKYO MARCH 7-9, 2014

NCAF

國藝會

2012 視覺藝術展專案
2012 Visual Arts Curatorial Project

普瑜投資股份有限公司
F.C.H. Investment Corp.

財團法人春之文化基金會
Spring Foundation

TKG FOUNDATION FOR ARTS & CULTURE
財團法人歌藝術文化基金會

NANZUKA

EPSON

3LCD



Asia Anarchy Alliance

May 16th ~ July 13th, 2014

Tokyo /Taiwan Power Tour!

**Asia's most dynamic anarchist organization: Asia Anarchy Alliance Super
Congregation in KdMoFA!**

Asia Anarchy Alliance (AAA) underwent two years of planning led by Kuandu Museum of Fine Arts (KdMoFA) curator Wu Dar-Kuen, with tremendous feedbacks received from the art industry and media in Japan for its first phase exhibition presented from March 8th to April 20th, 2014 at Tokyo Wonder Site.

The background of Asia Anarchy Alliance is set in “modern/contemporary” Asia, with new concepts proposed for the region based on art. With the principle of free thinking, AAA attempts to toss a small pebble in Asia to stir its stagnant perceptual waters, and with the ripple effect created to lead to possible ways for breaking free from the complex barriers put up by globalization and neoliberalism. AAA advocates taking up a realistic stance and to retrieve the many beliefs that were forced to be abandoned by capitalism or the state machine. Certainly, the realization process of this ideology may seem quite long and trying, but it is also a rather romantic approach for such an ideal manifestation.

Under the structure of AAA, the artworks created by the over 40 artists included in the Tokyo exhibition and the 25 artists in Taiwan are each considered an individual entity as well as a subject for this artistic symbiosis. This is a transnational “minor

movement” initiated by a group of Asian artists, and it is a movement based on artistic fulfillment which echoes with the realistic “imagination” for the contemporary Asia. Through the questions raised by the artworks, social issues faced by Asia today are pointed out. The objective of AAA’s progressive perception is to instigate field exercises in various Asian regions and to siege “globalization” with “local-internationalism”, and at the same time, it is also an “internal revolution” propelled by introspection of the Asia art world, as we anticipate for this endeavor to open up a referential outlet for Asian contemporary art.

In addition to the contributing artists from the Tokyo exhibition, AAA’s exhibition this time at KdMoFA will further bring together the Taiwanese artists from the Tokyo exhibition with more Japanese and Southeast Asian artists. The contributing artists this time include the following: CHEN Chieh-Jen, CHEN Ching-Yao, CHEN Ching-Yuan, YUAN Goang-Ming, YAO Jui-Chung, TU Pei-Shih, YEH Chen-Yu, CHANG Li-Ren, SUN Yuan & PENG Yu, Jompet Kuswidananto, Xijing Men (OZAWA Tsuyoshi, CHEN Shaoxiong, Gimhongsok), SAKAGUCHI Kyohei, and more; additionally, AIDA Makoto, MORIMURA Yasumasa from Japan, Dinh Q. Lê from Vietnam, and Sutthirat Supaparinya from Thailand are also included on the roster of this AAA exhibition!

Last but not least, it’s worth mentioning that several artists, including YUAN Goang-Ming (Taiwan), CHEN Ching-Yuan (Taiwan), and HAN Ishu (Japan), will be presenting their latest artworks inspired by Taiwan’s recent Sunflower Student Movement. Their endeavors will demonstrate Asian contemporary artists’ efforts to take root locally, and also showcase their capabilities and ambitions for confronting Asia and even conduct dialogues of international scale.

Exhibition Information

Exhibition: Asia Anarchy Alliance

Dates: May 16th ~ July 13th, 2014

Opening: May 21st (Wed) 5:00PM

Venue: Taipei National University of the Arts - Kuandu Museum of Fine Arts (KdMoFA)

Organizer: Kuandu Museum of Fine Arts, Tokyo Wonder Site, Project Fulfill Art Space

Support: National Culture and Arts Foundation (Taiwan), F.C.H. Investment Corp, Spring Foundation, Asian Cultural Council, TKG Foundation for Arts & Culture

Appointed Projector: EPSON

Appointed Monitor: SAMSUNG

國立臺北藝術大學
Taipei National University of The Arts

KdMoFA

關渡美術館
Kuandu Museum of Fine Arts

主辦 | 國立臺北藝術大學關渡美術館 / 公益財團法人東京都歴史文化財團トキョーワンダーサイト / 就在藝術空間
贊助 | 財團法人國家文化藝術基金會 指定投影機 | EPSON 指定顯示器 | SAMSUNG

Organizer | Kuandu Museum of Fine Arts (Taipei National University of the Arts) / Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture, Tokyo Wonder Site /
Project Fulfill Art Space (Taiwan) Support | National Culture and Arts Foundation: NCAF Appointed Projector Sponsor | EPSON Appointed LFD Sponsor | SAMSUNG

國立臺北藝術大學 KdMoFA 關渡美術館

tokyo wonder site

PROJECT FULFILL
ART SPACE

NCAF

國藝會

視覺藝術策展專案
Visual Arts Curatorial Project

音喻投資股份有限公司
F.C.H. Investment Corp.

財團法人春之文化基金會
Spring Foundation

TKG FOUNDATION FOR ARTS & CULTURE
財團法人耿藝術文化基金會

asian cultural council

EPSON

3LCD

SAMSUNG

〈 KdMoFA information 〉 Add: No.1, Xueyuan Rd., Beitou Dist., Taipei City 112, Taiwan Tel : +886-2896-1000 ext 2432

<http://www.kdmofa.tnua.edu.tw/>

Mail : kdmofa@kdmofa.tnua.edu.tw

Fax : +886-2-2893-8870

Participating Artists

■ 會田誠 | AIDA Makoto | Japan



【MONUMENT FOR NOTHING IV】2012 plywood, paper, acrylic, wood screw 570×750cm

■ 陳界仁 | CHEN Chieh-Jen | Taiwan



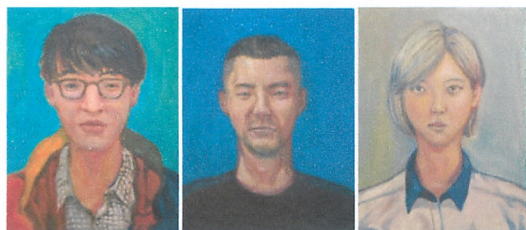
【The Route】2006 Single-channel Video, color, b/w, silent 16'45"

■ 陳擎耀 | CHEN Ching-Yao | Taiwan



【Dear Leader, We Love You!】2012-2014

■ 陳敬元 | CHEN Ching-Yuan | Taiwan



【Portraits in Legislature Yuan】2014 Oil paint on canvas, letters 13 pieces

■ 張立人 | CHANG Li-Ren | Taiwan



【Battle City EP01】2012 single-channel video 6'56"

■ 李光頂 | Dinh Q. Lê | 越南



【Sound & Fury】2012 3-channel Video Installation 9'

■ 潘逸舟 | HAN Ishu | Japan



【Memory of each other】2010 Single Channel 6'35"

■ 文敬媛&全浚皓 | MOON Kyungwon & JEON Joonho | South Korea



【El Fin del Mundo】2012 HD Film 13' 35"

■ 強派特·庫斯納托 | Jompet Kuswidananto | Indonesia



【National Crowed】 2014 Mixed media installation Variable

■ 坂口恭平 | SAKAGUCHI Kyohei | Japan



【New Government's Legislature】 2014 wood、ready-made

■ 森村泰昌 | MORIMURA Yasumasa | Japan



【A Requiem: Laugh at the Dictator】 2007 HDTV (color/monochrome), stereo 10'

■ 杜珮詩 | TU Pei-Shih | Taiwan



【World Expositions】 2014 collage 25x29.4cm x 5 pieces

■ 照屋勇賢 | YUKEN Teruya | Japan



【AU】2006 Print 24" x 21.3/4" (Diameter 5") 61cm x 55cm (Diameter 13cm)"

■ 姚瑞中 | YAO Jui-Chung | Taiwan



【Long Long Live】2014 Single-channel Video, colorful, sound 7'30"



【Long Live】2011 Single-channel Video, colorful, sound 5'30"

■ 葉振宇 | YEH Chen-Yu | Taiwan



【Blanket Series】2014, Fabric, leather 130x130cm

■ 袁廣鳴 | YUAN Goang-Ming | Taiwan



【The 568th Hour of Occupation】 2014 Single-channel Video 5'

■ 孫原+彭禹 | SUN Yuan & PENG Yu | China



【Open Sesame】 2012 M-200 Sniper Gun (toy gun), MG42 7.92mm General-purpose Machine Gun (toy gun), II War MG42 7.92mm General-purpose Machine Gun, Tripod, 4 signed framed agreement

■ 蘇圖西亞·蘇芭芭恩雅 | Sutthirat Supaparinya | Thailand



【Shooting Stars】 2010 HD video 9'06"



From left Yoshitaka Mouri, Prime minister of new government in Japan — Kyohei Sakaguchi, Premier of the Republic without people — Wu Darkuen, Xijing Men (OZAWA Tsuyoshi, CHEN Shaoxiong, Gimhongsok)

The Manifesto of A A A

In 2014, the third year after the incident of 311 Fukushima nuclear disaster, with the leaking of radiation and nuclear waste issues still remain unsolved, which alters the political map of the leading countries in Asia. In order to continue its political influences, the governments and multinational enterprise adapt neoliberalism more closely as its consequences.

~~People's Republic of China~~ Republic without People, Xijing Men, The New Government of Japan and a great number of like-minded Asian artists then allied as Asia Anarchy Alliance, they insisted on principles of anti-nuclear power, free will and the humanitarian concerns. 6th, February, 2014, The prime minister of ~~People's Republic of China~~ Republic without People convened an official meeting with Xijing Men and the New Government of Japan founded by Kyohei Sakaguchi in Tokyo Bay. Later the AAA founding manifesto was released in Tokyo, with the convention alliance signed by three parties. From 8th, March 2014 to 20th, April 2014, the AAA occupied the Tokyo Wonder Site as its first wave of Art-exhibiting movement; meanwhile, the influence of protest activity initiated by youth generation of Taiwan was widespread in Asia. In order to resonate with the Taiwanese youth protest,